2026.5.1現在

学校情報

①学校の概要、目標及び計画

学校名	設置年月日	校長名	所在地・連絡先
札幌スポーツ＆メディカル専門学校	平成16年7月5日	後藤　寿樹	〒060-0061 札幌市中央区南1条西8丁目11-1 （電話）011-233-3555
設置者名	設置年月日	代表者名	所在地・連絡先
学校法人　三幸学園	昭和60年3月8日	鳥居　敏	〒113-0033 東京都文京区本郷三丁目23番16号 （電話）03-3814-6151
学校の教育・人材養成の目的			
本校は、学校教育法に基づき、スポーツインストラクター、鍼灸師、柔道整復師等として、健康スポーツ分野・医療分野に従事しようとする者に必要な知識、技能を教授し、明日の健康産業、医療業界を担う人材を養成することを目的とする。			
沿革	http://www.sanko.ac.jp/about/history/		

②各学科等の教育

学科	修業年限	入学定員	収容定員
スポーツ＆アクティビティ科	2年	38人	76人
スポーツトレーナー科	2年	38人	76人
アスレティックトレーナー科	3年	38人	114人
スポーツ保育科	3年	38人	114人
鍼灸科昼間部	3年	30人	90人
柔整科	3年	50人	150人
鍼灸科夜間部	3年	27人	81人

＜客観的な指標の算出方法＞

客観的な指標の算出方法
全履修科目の評定（5点法で示されたもの）の和を科目数で除したものを「評定平均」とし、年に2回（期末ごとに）一覧管理を行うことで、成績の分布状況を把握する。

＜卒業要件について＞

卒業要件	
本校に修業年限以上在学し、所定の単位を修得し校長に認められた者に、進級・卒業の認定を行う。	
スポーツ＆アクティビティ科	インストラクターとして、主にグループレッスンに必要な知識・技術を身につけ、人々を惹きつける魅力あるレッスンを展開し、健康づくりのためのプログラム提供と運動指導ができる。
スポーツトレーナー科	トレーナーとして、基本的な姿勢・動作分析と評価ができ、レジスタンストレーニングやコンディショニング、機能改善に必要なスキルを習得して、幅広い層・ニーズに応じた運動プログラムの作成、指導ができる。
アスレティックトレーナー科	アスレティックトレーナーの資格を取得し、アスリートだけでなく、健康増進や機能改善を目的としたクライアントに対し、アスレティックトレーニング指導ができる。
スポーツ保育科	幼稚園や保育園、幼児体育施設などの先生として、こどもの発育発達を理解し、運動遊びや体操指導を通して、こどもの個性・成長を総合的にサポートすることができる。
鍼灸科	医療従事者として高いコミュニケーション能力と協調性を併せ持ち、様々な疾患に対し「はり」や「きゅう」を用いて適切な施術を行い、各種医療機関だけでなくスポーツ分野、社会福祉施設、美容施設など幅広い就職先で活躍できる人材
柔整科	医療従事者として高いコミュニケーション能力と協調性を併せ持ち、外傷に対し適切な応急処置、整復、固定、後療法を行い、各種医療機関だけでなくスポーツ分野、社会福祉施設など幅広い就職先で活躍できる人材

＜取得可能な資格について＞

取得可能な資格	https://www.sanko.ac.jp/sapporo-sports/jobdata/skill_introduction.html

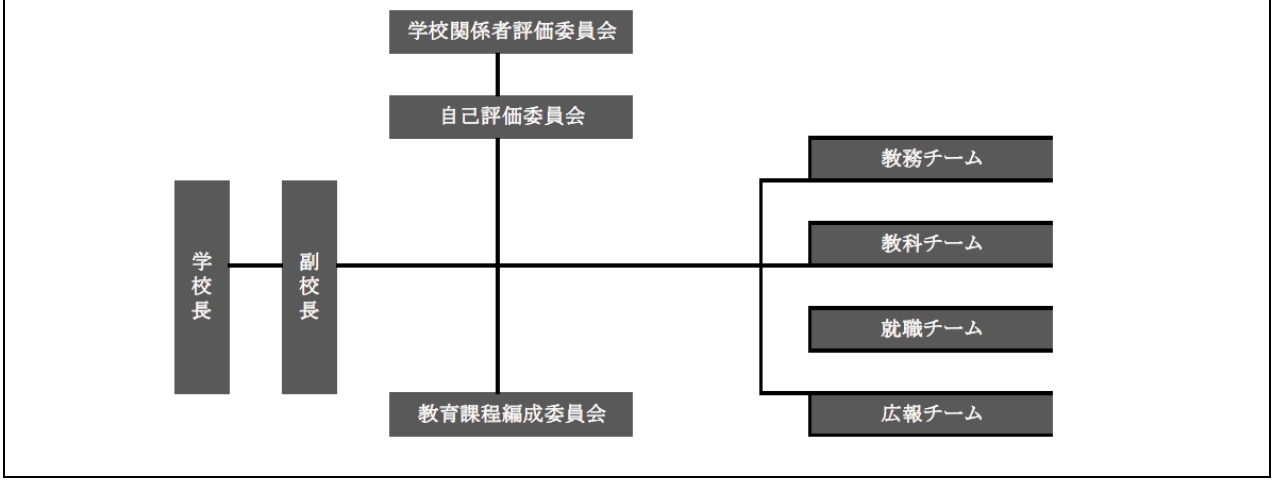
＜卒業後の主な進路について＞

就職実績	https://www.sanko.ac.jp/sapporo-sports/jobdata/jobdata.html

③教職員

専任教員	24
兼任教員	38
事務職員	4

教職員の組織



＜教職員の専門性について＞

名前	専門分野	資格・職歴等
工藤　杏奈	アスレティックトレーナー	治療院で柔道整復師として、またアスレティックトレーナーとしてテニス競技・女子バスケットボールチームに帯同し、様々な分野で活動している。保健体育教員免許を生かし、２０２５年よりスポーツ専門教育に従事。
冨永　敦	鍼灸師	はり師、きゅう師国家資格、はり師、きゅう師教員免許を有する。学校付属院鍼灸院にて臨床に従事。整動協会に所属。
加藤　雄大	柔道整復師	柔道整復師として整骨院で勤務しながら鍼灸師の免許を取得後、整形外科で勤務。さらに柔道整復師専科教員の資格を有し、学校教育に携わる。
小本　竜也	スポーツトレーナー	理学療法士、スポーツトレーナーとして、ジュニア世代からシニア世代まで幅広い年齢層を対象に理学療法および運動指導を行っている。
嶋崎　裕美	スポーツ＆アクティビティ	健康運動指導士、日本フィットネス協会アクアエクササイズエグザミナー、日本コアコンディショニング協会アドバンストトレーナー、ひめトレ教育トレーナーとして指導者を育成している。健康運動実践指導者実技評価委員。

④キャリア教育・実践的職業教育

キャリア教育への取組	https://www.sanko.ac.jp/sapporo-sports/schoolguide/practice/
実習実技への取組	カリキュラムに則した現場実習を行い、より実践的な教育機会としている。 ＜アスレティックトレーナー科　現場実習＞ ３年間で１８０時間の実習を実施。プロ、社会人、大学、高校にて競技スポーツ選手に対し、実習担当教員の下、トレーニング、コンディショニング、テーピング等の実施。 ＜スポーツトレーナー科、スポーツ＆アクティビティ科　インターンシップ実習＞ ２年間で１１０～１６０時間の実習を実施。フィットネスクラブ、スポーツクラブ、パーソナルトレーニングジム、スポーツチーム等で、トレーニング指導、集団への運動指導等を実施。さらには実技授業において、クライアントの特徴に応じた運動アドバイスの提供ができるよう、実践的な授業も導入している。 ＜スポーツ保育科　保育実習、教育実習＞ ３年間で４００時間の実習を実施。保育園・幼稚園にて、保育士・幼稚園教諭補佐として園の仕事を実際に体験する。 ＜鍼灸科　臨床実習＞ ３年間で１８０時間の実習を実施。鍼灸院等にて施術助手として院内業務、現場スキルを見て学ぶ。 ＜柔整科　臨床実習＞ ３年間で１８０時間の実習を実施。整骨院等にて施術助手として院内業務、現場スキルを見て学ぶ。 学校と実習先との事前打ち合わせ、担当教員による実習期間中の訪問等により、適宜課題発見等のケアを行っていく。実習終了後には振り返りを実施し、今後の学校生活や就職に向けて、評価に基づいたフィードバックを行うものとする。

⑤様々な教育活動・教育環境

学校行事	https://www.sanko.ac.jp/sapporo-sports/schoolguide/year.html

⑥学生の生活支援

生活上の諸問題（中途退学、心身の健康）への対応
担任制を取り、心身の健康問題、学校生活上の諸問題について早期発見・対応できるよう、日々個人面談等を実施している。また出欠席の状況等について、必要に応じて適宜保護者とも共有を図り、連携体制を整えている。 希望者に対してはスクールカウンセリングを行えるよう、カウンセラーを配置している。

⑦学生納付金・就学支援

学生納付金	pporosports/generalform.php?year=2027&gfc=84cr9i&_gl=1*yzufqf*_gcl_a
就学支援	https://www.sanko.ac.jp/sapporo-sports/guidelines/

⑧学校の財務

事業報告書	https://www.sanko.ac.jp/pdf/share/disclosure/9.pdf